

2019年度 大阪府福祉基金地域福祉振興助成金(地域福祉推進助成) 団体一覧

受付ID	団体名	活動地域	事業名	事業区分	実施期間 始期	実施期間 終期	事業実施場所	対象者等	事業概要	助成額決定額	実績額	返還額
54	大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合	大阪市内を中心とした大阪府全域	障がい者の働き続けるを応援する「互助型システム」構築事業	民間団体提案型事業	平成31年4月1日	令和2年3月31日	大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合	エル・チャレンジ訓練修了生2,000人、訓練修了生雇用企業・事業所200社	<ul style="list-style-type: none"> 生活面を支える家族、世話人といった身近な人たちとの意思疎通を図り、必要に応じて地域の相談機関に働きかけ福祉サービスの調整など支援するためソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)を配置し常設相談窓口を設置した。 就労支援養成研修を終了し、就労支援に関する知識と経験を有する者を職場訪問員として配置した。 円滑な事業運営をサポートし、専門的なコンサルテーションを行うためのコーディネーターを配置し、適切な事業の進捗管理を行った。 福利厚生サービス事業の構築を目的に、会員が利用できる福利厚生サービス「えーるくらぶ」を創設をコーディネートし、共済事業(見舞金等)の実施にむけたアドバイスを行った。 職場での法令違反や人権侵害、安定した生活を営むための法律相談等にあたるため、弁護士による相談体制を整えた。 	5,000,000	5,000,000	0
58	公益社団法人 大阪社会福祉士会	大阪府全域	成年後見制度における意思決定を中心とした権利擁護促進事業	民間団体提案型事業	平成31年4月1日	令和2年3月31日	公益社団法人大阪社会福祉士会	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪府下市町村の権利擁護事業担当者 ●大阪府下で専門職後見人として活動する弁護士・司法書士・社会福祉士等 ●大阪府下で市民後見人として活動している方あるいはこれから活動を目指す方 	市民後見人や親族後見人等、福祉関係者に向けた成年後見制度における意思決定支援のための事業 ①親族後見人や市民後見人を含めた福祉関係者向けの意思決定支援の基本的な考え方のガイドラインについて周知・啓発を行い、パンフレットを制作した。 ②意思決定支援に関する啓発研修会の開催(初年度、2年目、3年目) ③後見制度利用促進のための活動として、府内の8市町村を巡回し、三士会協同による情報提供や意見交換、中間機関立上げ・運営時の支援を継続する。(初年度、2年目、3年目)	2,180,000	761,252	1,418,748
57	特定非営利活動法人福祉のまちづくり実践機構	大阪府	大阪版ソーシャル・ファーム認定制度(ソーシャル・ファームおおさか)プロジェクト	施策推進公募型事業【テーマ】『府立施設等を活用した障がい者等の就労支援策のモデル事業』	令和1年6月1日	令和2年3月31日	特定非営利活動法人福祉のまちづくり実践機構	大阪府内でソーシャル・ファーム等の取り組みを実践するグループ・個人100程度	2019年度は「行政の福祉化」への波及につなげるよう、各アクターが生み出す価値・手法・制度などの「見える化への理解の浸透」と「インクルーシブ・パイオニアを支える環境整備」に取り組んだ。 ・「見える化への理解の浸透」では、2018年度にヒアリングに協力いただいた団体を中心に社会的インパクト評価研修を実施した。また、金融機関やソーシャルファームなどの相互理解を深めるきっかけとして金融とまちづくりに関するシンポジウムを開催した。 ・「インクルーシブパイオニアを支える環境整備」については、公契約市場以外におけるインクルーシブの可能性を検討するために「公益法人(社会福祉法人)における社会性に配慮した配達状況に関する調査」を実施した。 ・支援体制としては、中間支援組織や協議の場の重要性を取り上げてきたが、インクルーシブ領域では2019年4月に改正されたハートフル条例で定める「障がい者等の職場環境整備等支援組織(障がい分野)」にエル・チャレンジが7月に認定された。「行政の福祉化」が進めてきた総合評価入札制度など公契約を活用した脆弱性を抱える人の働く場づくり、インクルーシブ領域での中間支援組織が公式に設立された。 ・パイオニア領域では相互承認的な協議の場やネットワーク組織の必要性は認識しながらも、そうした場の構築には至らなかった。そのために2018年度に引き続き、他都市の中間支援組織へのヒアリングや東京都ソーシャルファーム条例などの事例を収集し、支援方を検討した。	4,000,000	4,000,000	0
59	社会医療法人大道会 森之宮病院	大阪市城東区	SAC高層賃貸住宅における災害弱者支援(多世代・多機関協働の推進)	民間団体提案型事業	令和1年10月1日	令和2年3月31日	社会医療法人森之宮病院 森之宮第2団地8号棟集会所	高層賃貸住宅の居住者、災害発生や停電時等に支援を要する災害弱者(医療機器の利用者ほか)	・スマートエイジングシティ(SAC)事業の多機関協働の実績を活かし、緊急性に沿って必要な支援を提供できる防災支援体制を構築する。マンパワーが少なく建物上の制約が大きい高層賃貸住宅の支援モデルとなる。 10月～12月:災害時の救援に関する実態調査(事前事後の打ち合わせ、告知活動、回収等) 1月～2月:災害時の救援に関する実態調査の結果報告書(各種会議、イベント、報告書の全戸配布) 1月16日:勉強会・模擬訓練・効果測定「発災想定ロールプレイ」(SAC参画機関メンバーによる模擬訓練、マニュアル案の検討など) 1月～3月:防災備品の整備(ロールプレイで検討した防災備品の購入、救援・救出体制の整備) 1月～2月:防災勉強会・効果測定(餅つき大会・防災食セミナーを企画、告知するが中止) 2月～3月:マニュアル案「防災手帳」の作成(簡易防災マニュアルの作成、配布)	4,472,000	4,382,837	89,163
60	一般社団法人 健康寿命世界一	大阪市、東大阪市、泉佐野市、奈良県橿原市、他	健康寿命延伸を地域で支える世代交流・相互理解イベント事業	民間団体提案型事業	平成31年4月1日	令和2年3月31日	東大阪市花園中央公園、大阪城公園、長居公園	高齢者、中高齢者、子育て世代、子ども	本事業は、子どもからお年寄りまで一緒に楽しめる健康寿命フェスティバルを開催し、高齢者が準備や運営に参加して自分ができることを見つけ、生きがいを生み出します。また、年間を通じて健康寿命ウォーキング体験会の開催を開催し、介護する側、受ける側双方で、介護予防・改善になる健康寿命ウォーキングを体験し、いつまでも自分の足で歩け、介護にならない体づくりを啓発します。令和元年11月3日東大阪市花園中央公園にて「健康寿命フェスティバル」を開催し、健康寿命ウォーキング、ダンスコンテスト、飲食・企業が出店し、子どもから高齢者まで自分ができるところを見つけて、社会に役立つことを実感できる機会を設けることができた。	4,994,000	4,994,000	0
										20,646,000	19,138,089	1,507,911